



# 学校便り

## 長崎市立日見中学校

第21号  
令和6年1月10日  
文責 校長 山本

### 【本年もよろしくお願いたします】

3学期の始業式を迎えるにあたり、まずは、1月1日能登半島で起きた最大震度7の地震のこと、翌2日羽田空港で起きた航空機同士の衝突事故について触れました。地震発生直後から、5m以上の津波が予想され、命を守るため逃げてくださいと繰り返しアナウンスする声や、航空機の衝突の瞬間など、テレビの映像を見るだけで何もできない自分の無力さを痛感しました。皆様のご家族や親戚、あるいはお知り合いに被害に遭われた方はいらっしゃいませんか。今は犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、日を追うごとに増える安否不明者の無事と救出。そして、被災され、毎日寒くて冷たい避難所等での生活を余儀なくされている方々の安心や、被災地の一刻も早い復興をただただ願うばかりです。自然災害も事故も、朝晩関係なく、そしてお正月だろうが、何の配慮もなく起こります。私は、今回の件で、改めて、危険が迫ったらどうするか、どこに逃げるか、どうやって連絡を取り合うかなどを家族で確認し合いました。皆様も、これを機会に、家族や近所の方と話してみたいかがでしょうか。また、今、私たちにできることは何かを考えたいと思います。

さて、新しい年が始まりました。辰年は、天高く上る竜のように、運気の上昇、積み重ねてきた努力が花を咲かせるなどといった言い伝えがあり、新しいことを始める縁起の良い年と言われています。皆様にとって、希望にあふれ、躍動する1年になることをお祈り申し上げます。

始業式では、3学期はまとめの学期であると同時に、次に向けた準備期間ということで、新年の目標を立て、目標の達成に向けて一つ一つ丁寧に取り組んでほしいと話をしました。また、3年生にとっては、いよいよ進路決定の時を迎えます。春はもう目の前。自分の力を信じて、最後まで頑張ってくれることを期待しています。皆様、一緒に3年生を応援してください。

### <3学期の抱負>

新年を迎え、今日から3学期が始まります。3学期は、1年間の締めくくりの学期であると同時に、次の学年への準備をする時期です。私たち1年生は、今まで先生方や先輩方にたくさんのことを教わりながら、中学校生活に少しずつ慣れてきました。そんな私たち1年生もあと3か月で2年生になり、先輩になります。2学期の終業式で校長先生がお話してくださったように、3学期は「2年生への0学期」として、一人一人が自覚と責任を持って行動しなければならないと思います。3学期を充実した成長の学期にするために、次の3つのことを意識して行動したいと思います。

1つ目は、時間を守ることです。2学期は、2分前着席や登校時間に間に合わず遅れた人がいたので、3学期は時間を守り、1日の始まりや授業開始を良い形にできるようにしたいと思います。一人一人が時間を見て、早めに行動する習慣を身につけたいです。

2つ目は、提出物の期限を守ることです。2学期は、提出プリントや各教科の課題、やり取り帳などを遅れて出す人がいました。やるべきことは必ず時間内にしなければならないし、遅れると集める係や先生にも迷惑をかけてしまいます。そのことを忘れずに、提出物は必ず期限を守るようにしましょう。

3つ目は、思いやりを持った行動です。2学期の学年集会で「思いやりは想像力」という言葉を教わりました。2学期には、相手が傷つく言葉を平気で言う人がいて、とても残念だったし、このままでは、よい人間関係をつくることできないと感じました。相手の気持ちを想像して、お互いが気持ちよく過ごせるように、思いやりを持った言動を全員で心がけていきたいです。

この3つを実行して充実した3学期を過ごし、勉強や運動も頑張る力を伸ばし、全員で2年生になる準備を万全にしていきたいです。自分自身としては、学級委員としての責任を持って積極的に行動し、3学期の最後までに、新1年生のお手本になれるようなクラスにできるよう、全力で頑張りたいです。

(1-1 佐々木 晴馬)

(裏面に続く)

2年生の3学期の目標は、4月から3年生になることを意識して生活することです。2学期は、多くの行事を通して、いろいろな力を身につけることができました。しかし、自分たちの行動を振り返って反省すべきこともありました。

僕が3学期にも続けていきたいことは、「協力し助け合うこと」です。修学旅行などの大きな行事での協力はもちろんですが、選挙活動では、学級の友達が快くポスターやたすきを作ってくれたり、応援してくれたりしました。また、時間に対する意識が高まったこともよかったです。例えば、僕の学級では、給食当番一人一人が「準備を早くする」という意識を持ち、それを行動に移すことができました。このように、みんなで協力すると、時間を有効に活用できることを学びました。

逆に、3学期に改善すべきこともあります。1つ目は、授業中や短学活の時間に私語が多いことです。一人が話し出すと他の人も話し出してうるさくなってしまうので、しっかりと注意ができるようにしていきたいです。2つ目は、クロムブックの使い方です。雑な扱いをしたり、授業に関係のないことを調べたりする人がたくさんいました。こうなってしまったのは、「バレないだろう」という気持ちや、そのような人を見つけても注意しなかったことが原因だと思います。だから3学期は、このようなことを繰り返さないように、学年全員で心がけていきたいです。

僕たち2年生は、4月から3年生になります。3年生は、学校のリーダーであり、受験生でもあります。3学期は、その準備をしなければならない大切な時間です。先輩方に負けられないような3年生になるためにも、目標を持って、しっかりと生活していきたいです。  
(2-1 久松 絢太)

僕は3学期、初めて学級委員になります。なぜ学級委員になろうと思ったのかというと、3年生は残り約2か月しか中学校生活がありません。その中で「受験」という3年生にとって大きな行事があり、勉強漬けの毎日が続く中、学校にきています。やっぱり学校は楽しくないとおもしろくはありません。だから僕が学級委員になって、自分の明るい性格を生かし、クラスが楽しく過ごしやすいクラスになるような努力をしようと思ったのと、2学期の学級委員だった煌ちゃんの後を幼なじみとしてしっかりと受け継ごうと思ったからです。

僕は学級委員になってこんなクラス、学年にしたいと思うことが3つあります。

1つ目は、メリハリのあるクラスにすることです。3年1組は明るく、毎日雰囲気がよく、元気で笑顔があふれているクラスです。しかし、時にそれが空回りしたり、授業中うるさくて先生から私語が多いなどの注意を受けることが多くありました。今まで自分も授業中でもみんなしゃべっているからいいやと思い、ついしゃべってしまい、注意されることがありました。なので、3学期は注意される側ではなく、学級委員として注意をできるようにしたいです。

2つ目は、助け合いができるクラス、学年にすることです。一番早い人で1週間もない内に受験がある人もいます。私立は今月中、公立は2月、3月にありますが、時間はあっという間に過ぎてしまうものです。受験は団体戦だといわれています。それぞれ自分の立場はありますが、クラス、学年全員で助け合いながら、みんなが自分の志望校に合格できるように日々勉強をみんなで頑張っていきたいです。

3つ目は、3年生の集大成だということです。最初にも言ったとおり、3年生は残り約2か月しか中学校生活はありません。みんなと過ごしていく日々が減ってきています。1日1日を大切に、毎日を笑顔で過ごしていけるように、協力し合いながらみんなで楽しんでいきたいです。校長先生が言ったように、壁を乗り越えなければなりません。みんなで壁を乗り越えて次のステップに行けるよう頑張りましょう。

このように、3年生は受験が始まり難しい時期に入ってきました。その上に中学校生活も少なくなってきましたが、まだまだ思い出はたくさんつくることができます。いや、今も何もかも全て思い出です。今いる友達、一緒に3年間、9年間過ごしてきた仲間、先生、後輩、日見中、時間を大切にしていきたいながら、3年生全体で残りの中学校生活をしっかりと味わって卒業できるようにしたいです。そして自分は、最終的に学級委員になってよかった、みんなが3学期の学級委員は蒼真でよかったと言ってもらえるように、いろいろな仕事を頑張っていきたいです。  
(3-1 西岡 蒼真)

## <お知らせ> 1月19日(金)「ふるさと学」発表会

これは、本校と仁田佐古小学校が県教育委員会から研究指定を受けた「小中高が一体となったふるさと教育推進事業」として、これまでの研究の成果を紹介するものです。14時から本校体育館で発表します。ぜひ、保護者の皆様、地域の皆様にお越しいただければと思います。